

令和4年三重県議会定例会

教育警察常任委員会

所管事項概要説明

- 1 警察運営の重点について
 - ・ **資料1** 三重県警察の組織……………1頁
 - ・ **資料2** 令和4年三重県警察運営の重点……………2頁

- 2 令和4年度当初予算について
 - ・ **資料3** 令和4年度警察費当初予算……………3頁

- 3 犯罪情勢について
 - ・ **資料4** 犯罪情勢……………7頁

- 4 犯罪対策について
 - ・ **資料5** 犯罪対策……………8頁

- 5 地域警察活動について
 - ・ **資料6** 地域警察活動……………9頁

- 6 交通安全対策について
 - ・ **資料7** 交通安全対策……………10頁

- 7 テロ対策と大規模災害等緊急事態対策について
 - ・ **資料8** テロ対策と大規模災害等緊急事態対策……………12頁

令和4年5月25日

警察本部

三重県警察の組織

○ 組織図（令和4年4月1日現在）



○ 条例定員（令和4年4月1日現在）

警察官3,079人 警察官以外の職員404人

令和 4 年三重県警察運営の重点

基本方針

「県民と共に築く安全で安心な三重」の実現
～ 強く・正しく・温かく ～

重点

- 子供・女性等を守る取組と犯罪対策の推進
- 検挙の徹底に向けた的確な犯罪捜査の推進
- 総合的な交通事故抑止対策の推進
- テロの未然防止に向けた対策と大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進
- サイバー空間の脅威に対処するための取組の推進
- 犯罪被害者等支援の推進

三重県公安委員会 ・ 三重県警察

令和4年度警察費当初予算

1 警察費項目別予算額

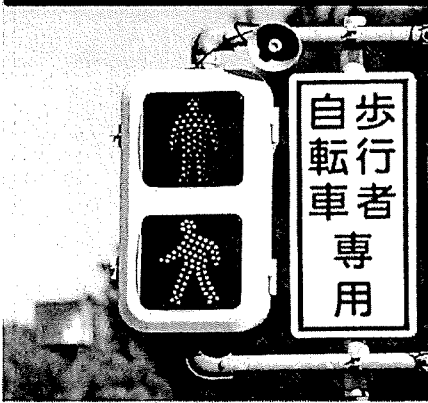
(単位：千円)

項・目	令和4年度 当初予算(A)	令和3年度 当初予算(B)	増減 (A-B)	主な増減内容
警察管理費	34,461,308	34,745,117	-283,809	
公安委員会費	7,097	7,119	-22	
警察本部費	32,675,576	32,893,300	-217,724	人件費(-219,526) 職員給料、期末勤労手当等各種手当の減額
装備費	366,881	498,567	-131,686	ヘリコプター運用・維持費(-144,165) ヘリコプター特別点検等費用の減額
警察施設費	583,418	385,465	+197,953	庁舎等施設整備費(+207,434) 科捜研独立庁舎整備、照明のLED化等に伴う増額
運転免許費	805,883	932,455	-126,572	高齢者講習実施費(-132,022) 制度改正による受講者数の減少等に伴う減額
恩給及び退職年金費	22,453	28,211	-5,758	
警察活動費	4,176,255	3,709,039	+467,216	
一般警察活動費	301,891	306,231	-4,340	
刑事警察費	1,008,059	935,915	+72,144	通信指令室機器維持管理費(+207,042) 通信指令システムの高度化更新に伴う増額 テロ等対策費(-179,642) 国体等対象警備の減少に伴う減額
交通指導取締費	471,989	435,660	+36,329	
交通安全施設整備費	2,394,316	2,031,233	+363,083	交通安全施設整備事業(+376,651) 交通安全施設等の更新数の増加に伴う増額
警察費合計	38,637,563	38,454,156	+183,407	

2. 主要事業

- (1) 交通安全施設整備事業 1,861,814千円 [交通規制課]
(1,875,580千円 ※R3年度1月補正予算含み)
老朽化した信号制御機、信号柱、信号灯器の更新、歩行者支援システムの整備、摩耗した横断歩道等道路標示の塗り替えを行うなど交通安全施設等の更新、整備を行います。
- (2) 警察官駐在所等整備事業 212,179千円 [会計課・地域課]
朝日町に交番を新設します。また、老朽化した交番1か所の建替工事に着手するほか、駐在所5か所を建て替えます。
- (3) 警察署庁舎整備事業 111,783千円 [会計課]
大台警察署の建替整備に向けて基本・実施設計を行います。また、尾鷲警察署の大規模改修に向けて基本・実施設計を行うほか、仮設庁舎の整備を行います。
① 大台警察署の建替整備 67,816千円
② 尾鷲警察署の大規模改修 43,967千円
- (4) 庁舎等施設整備事業 259,456千円 [会計課・刑事企画課]
緻密かつ効率的な鑑定を可能とし、捜査力を強化するため、科学捜査研究所の独立庁舎整備に向けて基本・実施設計を行います。また、脱炭素社会の実現に向けて、警察施設における照明のLED化を進めます。
〈主な事業〉
① 科学捜査研究所整備 28,075千円
② 照明のLED化(113施設) 16,680千円

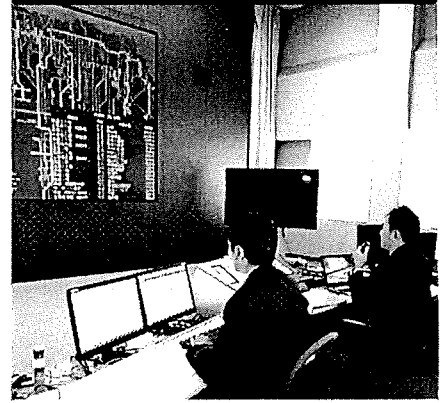
視認性の高いLED信号灯器



通学路の横断歩道の塗り替え



交通管制システムの更新



①交通安全施設等

※①表の金額はR3年度1月補正予算含みの予算額
【R3年度1月補正予算額 約1,370万円】

老朽化した信号制御機、信号柱、信号灯器を更新します。 (LED信号灯器600灯(前年度比約10倍)信号柱110本(前年度比約1.5倍)) 信号交差点で視覚障がい者等を誘導する歩行者支援システムを整備します。	約7億7,500万円
見えにくくなった横断歩道、停止線、止まれ文字等を塗り替えます。	約5億6,500万円
見えにくくなった路側標識等を更新します。	約1億7,400万円
交通管制システムの更新を行うほか、交通環境の変化に応じて交通規制を見直します。	約3億6,200万円
	約18億7,600万円 (前年度比約1.3倍)

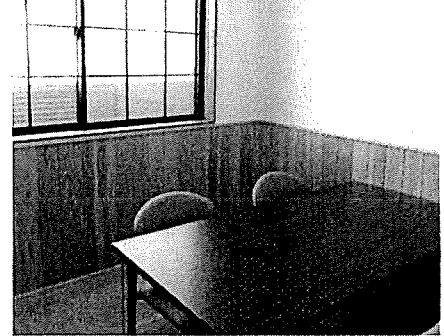
県産材利用の駐在所



事務室



相談室

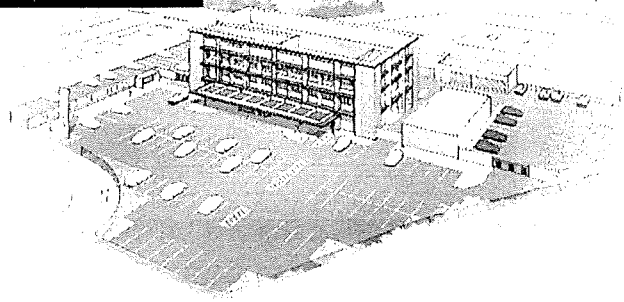


②交番・駐在所

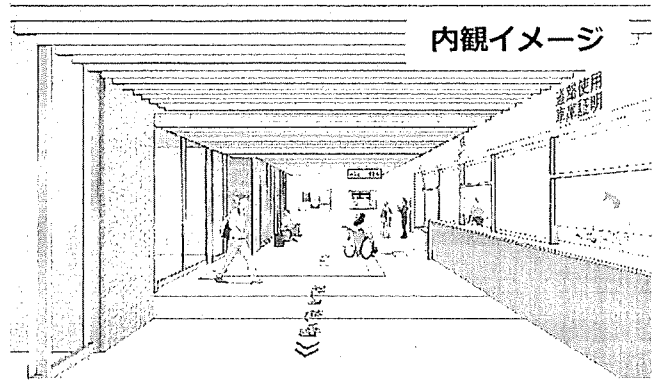
朝日町に交番を新設します。	約5,600万円
老朽化した交番1か所を建て替えるための工事に着手します。 老朽化した駐在所5か所を建て替えます。	約1億5,600万円
	約2億1,200万円

大台警察署

俯瞰イメージ

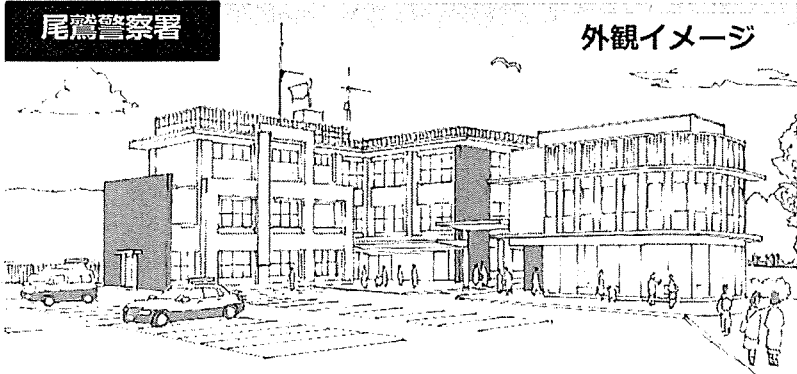


内観イメージ

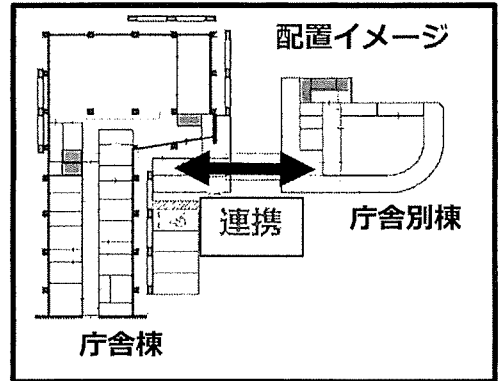


尾鷲警察署

外観イメージ



配置イメージ



③警察署

大台警察署の建替整備に向けて、基本設計と実施設計を行います。

約6,800万円

尾鷲警察署の大規模改修を行うため、基本設計と実施設計を行うほか、仮設庁舎の整備を行います。

約4,400万円

約1億1,200万円

科学捜査研究所

本部庁舎

俯瞰イメージ

科学捜査研究所



建設予定地

警察本部



④科学捜査研究所

DNA型の鑑定やカメラ映像の解析等を行うため、科学捜査研究所の独立庁舎整備に向けた基本設計と実施設計を行います。

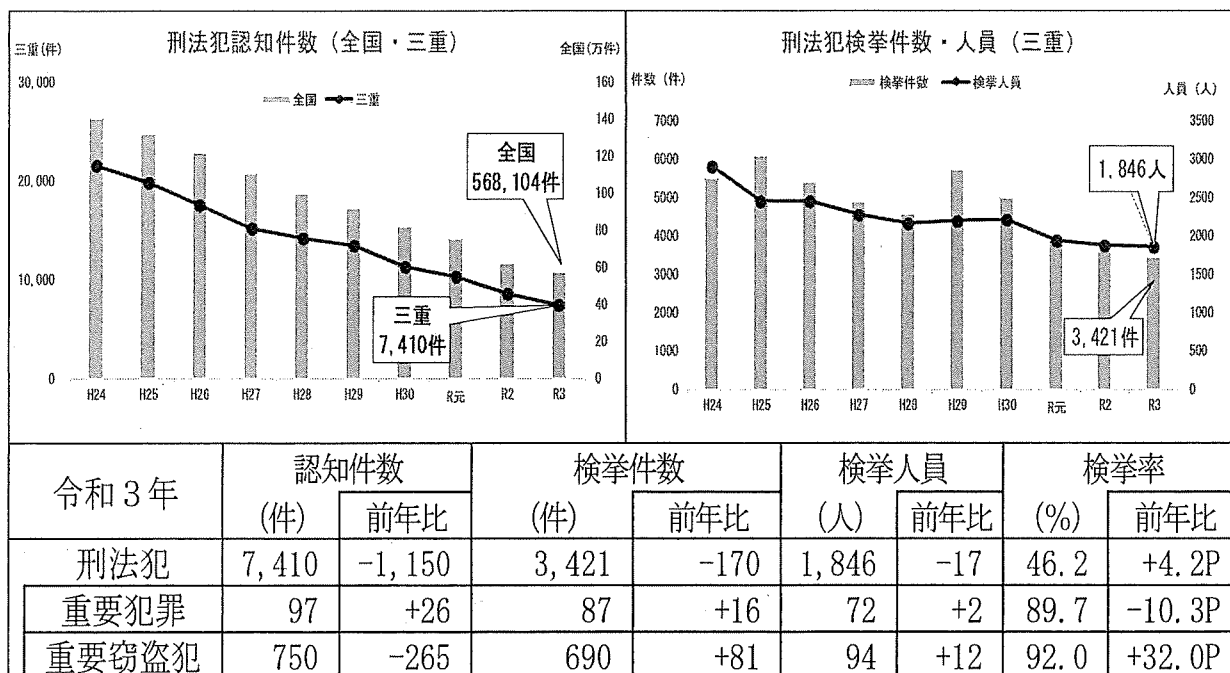
約2,800万円

3 その他の主要事業

事業の内容	担当課
<p>〈災害対応力の充実・強化〉</p> <p>1 (一部新) 災害警備対策事業 25,268千円 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費) 災害等発生時における救出救助等の活動を迅速かつ的確に実施するために、移動指揮車と高い情報収集機能を有するドローン等の装備資機材を整備します。</p>	警備第二課
<p>〈犯罪に強いまちづくり〉</p> <p>1 通信指令室機器維持管理事業 515,144千円 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費) 通信指令システムの更新整備にあわせ、現場で活動する警察官と画像をリアルタイムに共有できるようにするなどの機能強化を図ります。</p>	通信指令課
<p>2 (一部新) 情報化基盤運営事業 248,232千円 (第9款 警察費 第1項 警察管理費 2 警察本部費) 警察業務における行政手続のオンライン化や事務の効率化を図るため、情報システムの開発・運用に必要な人材の育成や機材の整備などの環境構築を行うほか、既存の情報システムの更新、端末の整備を行います。</p>	情報管理課

犯罪情勢

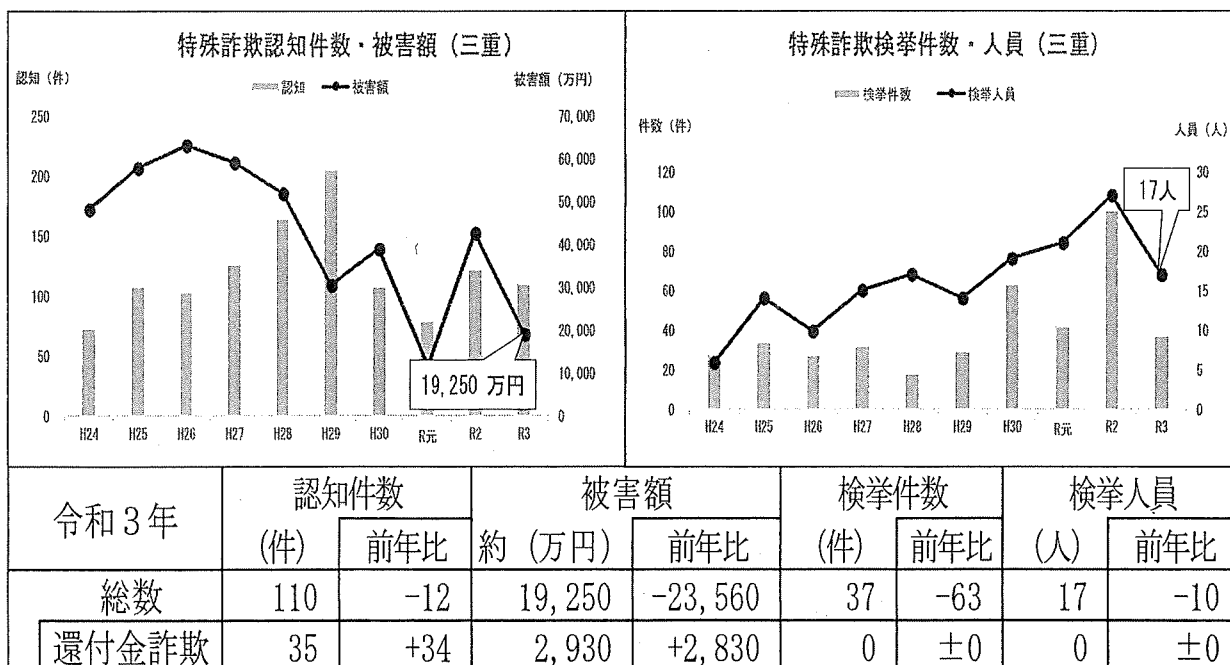
1 刑法犯



重要犯罪とは、殺人、強盗、強制性交等、強制わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買をいう。

重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりをいう。

2 特殊詐欺



特殊詐欺とは、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗をいう。

犯罪対策

1 総合的な犯罪対策の推進

- (1) 犯罪情勢に応じた警察活動の強化
- (2) 犯罪発生状況の分析による犯罪情報・地域安全情報等の情報発信
- (3) 自治体、地域住民、防犯ボランティア団体等と連携した合同パトロールなどの犯罪防止に向けた取組の実施
- (4) 若い世代や現役世代の防犯ボランティア活動への参加促進のための働き掛け
- (5) 防犯ボランティア団体に対する活動用物品の支援等



2 子供・女性等を守る取組の推進

- (1) ストーカー・配偶者からの暴力事案・児童虐待事案対策
 - ア 被害者等の安全確保を最優先とした対応
 - イ 加害者の検挙や法令に基づく行政措置の実施

	H29	H30	R1	R2	R3	前年比
ストーカー事案	353	305	212	226	288	+62
配偶者暴力事案	742	672	653	689	751	+62
児童虐待事案通告人員	272	599	570	721	724	+3

- (2) 子供・女性の犯罪被害防止対策

- ア 通学路や登下校時間帯等に重点を置いた見守り・パトロール活動の強化
- イ 声掛け・つきまといなど性犯罪等の前兆事案に対する行為者の特定、検挙又は指導警告措置の推進
- ウ 児童・生徒等に対する防犯教室の実施

	H29	H30	R1	R2	R3	前年比
不審者情報認知件数	825	1,089	925	834	926	+92
うち子供対象	426	550	507	394	419	+25
うち女性対象	399	539	418	440	507	+67

3 特殊詐欺被害防止対策の推進

- (1) 県民の警戒心・抵抗力を向上させるための防犯指導・広報啓発の推進
- (2) 防犯機能を備えた電話機器の普及を始めとした被害に遭わないための環境整備の促進
- (3) 金融機関・コンビニエンスストア等と連携した水際対策の強化

	H29	H30	R1	R2	R3	前年比
認知件数	205	107	92	122	110	-12
高齢者被害件数(割合)	87(42.4%)	55(51.4%)	64(69.6%)	94(77.0%)	90(81.8%)	-4(+4.8P)
被害額(約 万円)	30,550	38,960	14,230	42,820	19,250	-23,560
高齢者被害額(割合)	15,630(51.2%)	30,700(78.8%)	10,980(77.2%)	28,850(67.4%)	16,500(85.7%)	-12,350(+18.3P)

4 サイバー犯罪対策の推進

- (1) 高度な情報技術等を悪用したサイバー犯罪の取締り
- (2) 官民一体となった被害防止対策の推進
- (3) 専門的な知識・能力を有する人材の育成、資機材の整備等による対処能力の向上

	H29	H30	R1	R2	R3	前年比
サイバー犯罪相談受理件数	3,524	2,594	2,180	2,203	3,136	+933
サイバー犯罪検挙状況	106	119	137	59	181	+122

地域警察活動

地域警察は、昼夜を分かたず常に警戒体制を保ち、様々な警察事象に即応する活動を行うことにより、地域住民の安全・安心の確保に努めています。

1 交番・駐在所の活動

- (1) 警ら、立番等による警戒活動
- (2) 地域住民と連携した活動
- (3) 事件・事故への即応



2 山岳遭難及び水難に対する活動

- (1) 山岳遭難及び水難防止に向けた警ら、広報啓発活動
- (2) 救助技術の向上を図るための救助訓練
- (3) 関係機関・団体等と連携した捜索救助活動



3 鉄道警察隊の活動

- (1) 列車警乗
- (2) 駅・ホーム等の警戒警備
- (3) 鉄道事業者と連携した不審者対応訓練



4 自動車警ら隊の活動

- (1) パトカーの機動力をいかした機動警ら
- (2) 事件・事故発生時における迅速かつ的確な初動措置



5 通信指令

110番通報の受理及び警察官の現場急行や必要な措置の指令



交通安全対策

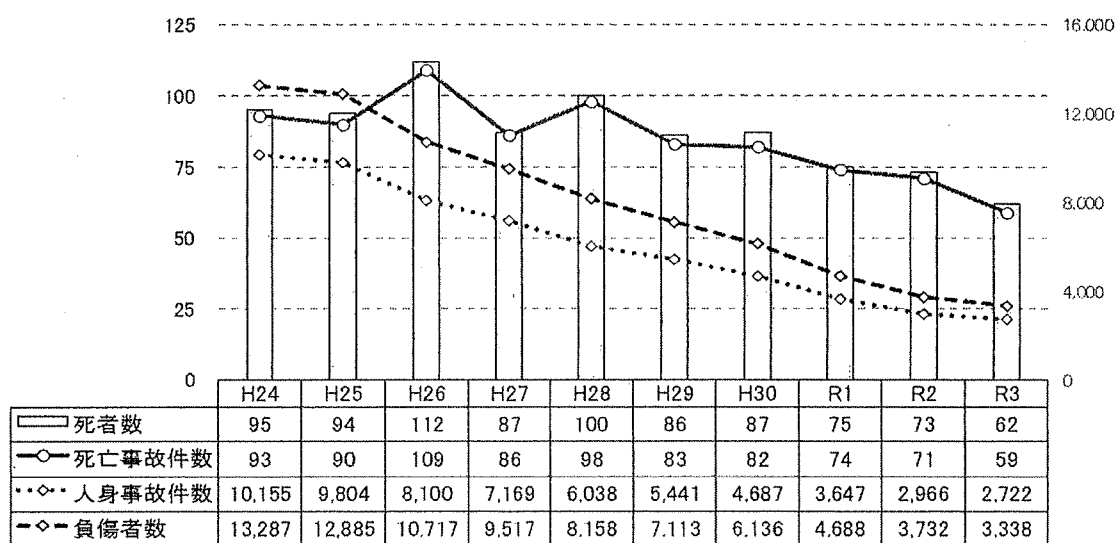
1 交通事故情勢（令和3年中）

○交通事故の状況

令和3年中の交通事故死者数は62人で、前年と比べ11人減少し、統計を開始した昭和29年以降最少を更新しました。また、人身事故の発生件数は2,722件で、前年と比べ244件減少しました。

当県の交通事故情勢は、人身事故件数、死者数ともに長期的に見て減少傾向にあります。

〈交通事故の状況（平成24～令和3年）〉



○交通事故死者の特徴

死者62人（-11人）※括弧内は前年比

・高齢死者 40人（+1人）→構成率64.5%

自動車乗車中	14人（+3人）
二輪車乗車中	6人（+5人）
自転車乗用中	5人（-3人）
歩行中	15人（-4人）

・歩行者等死者 31人（-4人）→構成率50.0%

歩行中	21人（-5人）
うち夜間の歩行中	14人（-7人）
自転車乗用中	10人（+1人）

・自動車乗車中死者 22人（-1人）→構成率35.5%

うちシートベルト非着用4人（構成率18.2%）→助かり1人

2 横断歩行者の安全対策

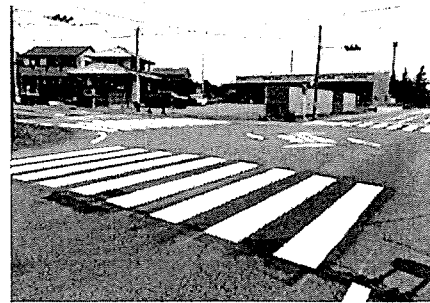
○横断歩道対策

横断歩道を渡ろうとする歩行者がいるとき、自動車は一時停止しなければなりません。警察では通学路を中心とした横断歩行者妨害違反や速度違反の交通指導取締りを行い歩行者保護を強化しています。また、歩行者が横断する意思を明確にし自らの安全を守るための交通行動を促す「横断歩道“ハンドサイン”キャンペーン」等の交通安全教育活動、広報啓発活動に取り組んでいます。



○横断歩道の塗り替え

道路を横断する歩行者の安全を確保するため、横断歩道の塗り替えを推進します。前年度は4,091本を塗り替えました。令和4年度は3,100本を塗り替えます。



3 高齢者の交通事故防止対策

○歩行者等対策

歩行中・自転車乗用中の事故で死亡する高齢者の中には運転免許を保有せず、運転免許の更新時講習等、交通安全教育を受ける機会の少ない方もいることから

- ・高齢者交通安全の日（S・Sデー）を設定しての取組
- ・高齢者交通安全アドバイザー制度による訪問活動

等、歩行者等に対する交通安全意識を高める活動を推進しています。

○運転者対策

高齢者の加齢に伴う記憶力・判断力、視覚等の低下等の特徴を踏まえ

- ・自動車教習所等と連携した交通安全教育
- ・事故を起こした運転者に対する個別指導
- ・安全運転サポート車の普及啓発

のほか、本年5月13日に施行された改正道路交通法の制度の内容が確実に伝わるよう、効果的な広報に取り組んでいます。

また、運転免許証を返納しやすい環境の整備に向けた取組を進めています。

<運転免許の自主返納>

区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
自主返納件数	2,199件	3,190件	6,489件	6,147件	8,419件	7,622件	7,140件
75歳以上	1,044件	1,782件	4,573件	4,822件	5,992件	5,129件	4,842件

テロ対策と大規模災害等緊急事態対策

1 テロ対策

【警戒警備】

皇室の方々の御来県や要人が出席する国際会議等が県内で開催される場合には、警察において警衛・警護警備を実施しています。

今後、県内外で大規模行事の開催も想定されることから、その安全確保のため、万全の体制で警備に臨む必要があります。



【官民一体となったテロ対策】

依然としてテロ等違法事案の脅威が継続する中、テロの未然防止には、警察だけでなく、関係機関、民間事業者、地域住民等と緊密に連携した諸対策を推進する必要があります。例えば、官公庁、ライフライン、公共交通機関、大規模集客施設等で構成する「テロ対策パートナーシップ」では、その時々的情勢を踏まえた情報共有や訓練等の官民一体となった取組を推進しています。



2 大規模災害等緊急事態対策

【災害への備え】

近年、地震や豪雨等による自然災害が全国各地で発生しており、地域の特性に応じた災害への即応力を始めとする対処能力向上が求められています。

警察では、今後発生が懸念される南海トラフ地震を始めとする大規模災害に的確に対処できるよう、非常参集訓練や災害警備本部設置訓練はもとより、防災関係機関等と連携した実戦的な訓練等、災害対処能力の向上や初動態勢の確立に向けた取組を推進しています。



【新型コロナウイルス感染症への対応】

新型コロナウイルス感染症については、職員の感染防止を徹底して、県民の安全・安心を担う組織の機能を維持しつつ、混乱に乗じた各種犯罪の抑止と取締り等の諸対策を推進しています。また、県・市町からの各種要請への協力等の活動を推進しています。

